



# 「知への初々しい憧れと畏敬の念」

## ～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第113号 令和3年12月22日

### 第6学年伊豆高原移動教室の報告

令和3年12月20日（月）と21日（火）に1泊2日で、第6学年の子どもたち84名は伊豆高原移動教室に行きました。本来は、6月実施だった長野県東御市のとうぶ移動教室は緊急事態宣言発令により延期となりましたが、大田区教育委員会の計らいによって、今回の実施となったわけです。実施場所は変わりましたが、何よりも子どもは行事で成長します。実施できて、本当によかったと思います。

当日は、午前7時45分に学校集合。参加予定の84名は、遅刻することなく集合しました。このことでも、どれだけ子どもたちが本移動教室を楽しみにしてきたかが分かりました。バスの中では、事前に考えたバスレクで、クラスで楽しみながら過ごしました。バスガイドさんの小田原市や静岡県の特産のお話を聞きながら、本当に楽しかったです。

宿舎はとてもきれいでした。そのきれいな宿舎は伊豆高原駅の隣。電車でも直ぐに行けそうです。早速宿舎前で開講式。学園長のお話は「ルールを守って生活してほしい。」というものでした。

そして、すぐにつり橋ハイキングに出掛けました。6人くらいのグループで一人の案内人がついてくれます。現地ボランティアの方が学園から海に向かってハイキングの案内してくださいました。海の岸壁では柱状節理、大島が見える景色、すれ違う人との「こんにちは。」という挨拶、落ちていた大きな松ぼっくり、ユーカリの木から醸し出される香り、どれもここに来ないと味わうことはできません。そして、つり橋、ちょっと歩くだけで揺れすぎる感じで、みんな恐々と渡りました。これは楽しかったです。



夕飯のおいしいカレーライスの後にはキャンドルファイヤー。体育館で行いました。校長先生が火の神、3人の子どもが火の子を演じました。これはその後のレクリエーションも含め、本当に盛り上がりました。マイムマイムは定番であるだけに、本当に面白かったです。この日の夜は、新たな環境でもあっただけに、子どもたちも疲れたのだと思います。夜はぐっすりと眠りました。

二日目は、閉校式を終えて、ぐらんぱる公園へ。ここは楽しい遊園地のような場所です。乗り物を楽しむなど、子どもたちはグループで楽しい時を過ごしていました。笑顔あふれる子どもたちの様子に、満足感を見ることができました。

例年より短い1泊2日の移動教室でしたが、短いからこそ良さもあります。集中して、真に仲間と共有する時間の価値を実感することにつながったと思います。この体験は、おそらくほとんどの子どもたちは、大人になっても忘れることはないでしょう。本当に、いい天気のもと、移送教室が実施できてよかったね。



6年生の先生方、引率の先生方と学生さん、本当にありがとうございました。子どもたちにとって良い体験になったことを嬉しく思います。